

# ハイブローノズルSUS

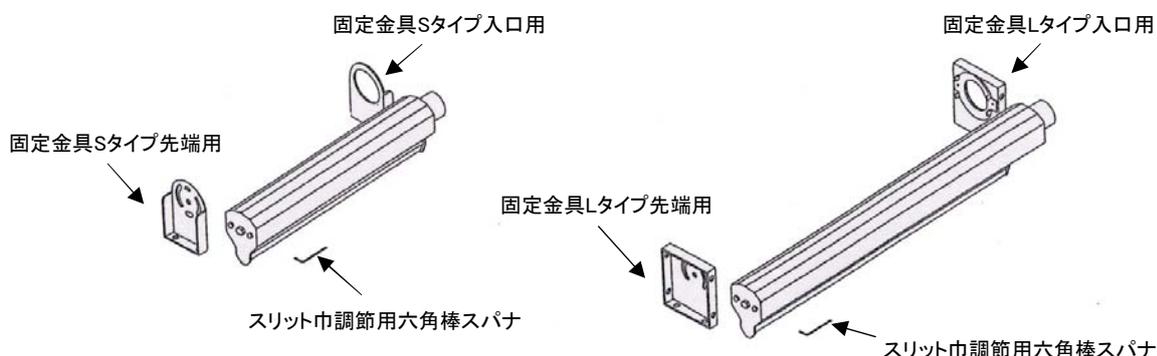
## 取扱説明書

### ●ご使用前に必ずお読みください。

- ◆ このたびは、ハイブローノズルSUSをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- ◆ 本体の銘板にて、型式、品番、付属品がご注文の製品に相違ないかをご確認ください。

《スリット長さが1000mm以下のタイプ》

《スリット長さが1010mm以上のタイプ》



## 1. 使用上の注意点

ハイブローノズルSUSの使用上の注意点を記載していますので、必ず厳守ください。

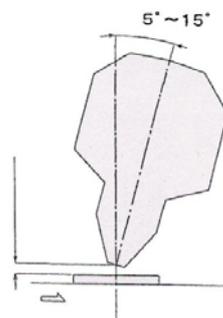
- ① ハイブローノズルSUSを使用するにあたっては、送風機、熱風発生機の性能を十分に把握し、それぞれの性能を十分に考慮した方法で使用してください。
- ② 本製品にエア以外の流体を絶対に通さないでください。
- ③ 本製品に衝撃を与えると、破損や変形をおこすので、慎重に取り扱ってください。
- ④ 熱風を吐出させる場合は、周囲の環境を十分に把握して、専用断熱材を取り付けるか、またはカバー等の設置による火傷対策、及び環境対策措置を施してください。
- ⑤ 本製品の耐熱温度は350℃以下となります。それ以上の温度で使用すると、熱による変形やエア漏れが発生します。
- ⑥ 本製品のタイプ、スリット長さ、スリット巾によって効率的な使用風速が決まっています(カタログ参照)。この範囲外で使用した場合、左右の風速のバラツキが発生したり、均一なエアが吐出されず性能が低下するため、必ず効率的な使用風速内でご使用ください。
- ⑦ 本製品の最高耐圧力は49kPa以下となります、これ以上の圧力で使用すると、破裂などの危険性があるため、最高耐圧力を厳守願います。

## 2. 効率の良い使用方法

水切り、及び熱風による乾燥時、ハイブローノズルSUSの効果的な設置方法として以下をご参照ください。

- ① 対象物の搬送進行方向に対して、5°～15°の角度をつけて設置してください。
- ② ハイブローノズルSUSと対象物の距離をできるだけ近づけてください。

できるだけ近づける。

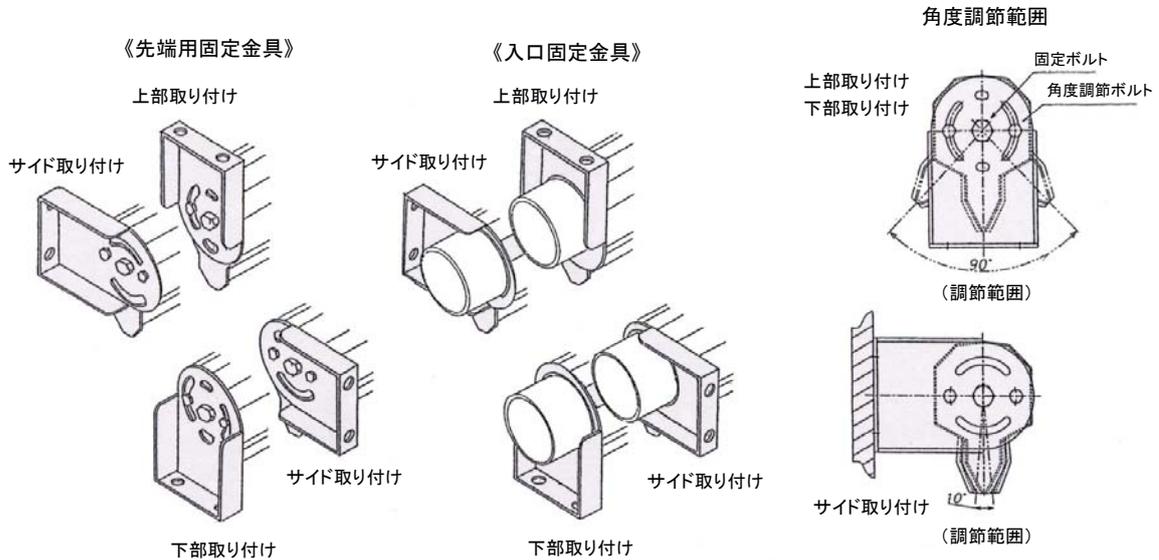


### 3. 取り付け方法

ハイブローノズルスUSには固定金具が標準装備されています。ノズルのスリット長さによってそれぞれ固定金具が異なりますので、ノズルの長さにあった方法で固定してください。また、角度調節ボルトにて、任意の吹き出し角度に調節できます。

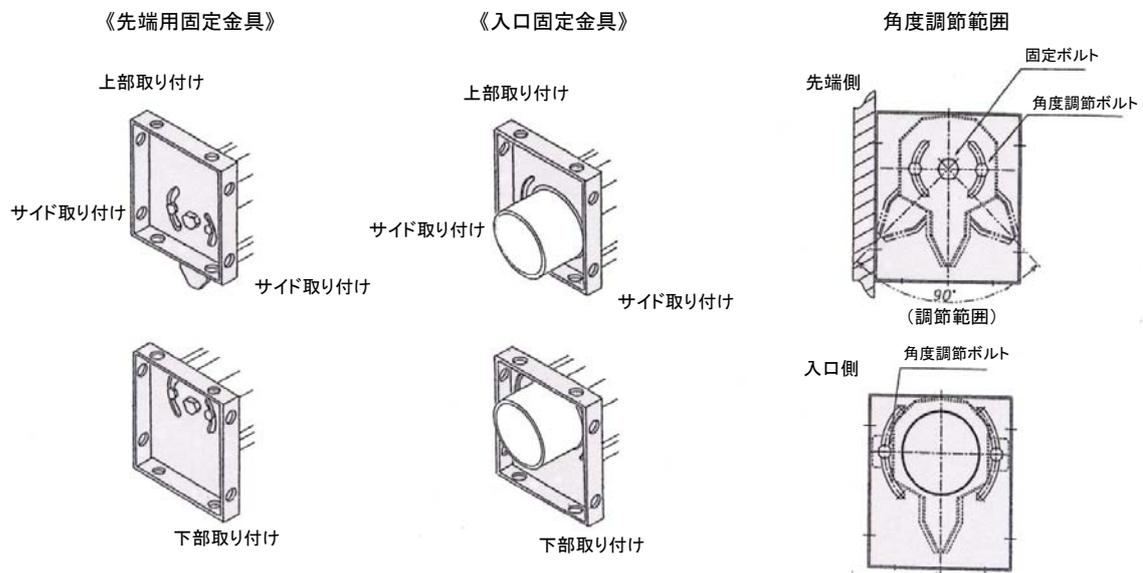
#### ① スリット長さ1000mm以下

入口用、及び先端用固定金具は取り付け向きを変更することで、上部取り付け、下部取り付け、両サイド取り付けに対応できます。ただし、吹き出し角度の調節は、上部、及び下部取り付けの場合は90°まで、両サイド取り付けの場合は30°までとなります。



#### ② スリット長さ1010mm以上

入口用、及び先端用固定金具は取り付け向きを変更することで、上部取り付け、下部取り付けが対応でき、また、取り付け向きを変更せずに両サイド取り付けが対応できます。ただし、吹き出し角度は、いずれの取り付け方向にかかわらず90°まで調節できます。



#### 《注意》

1. 固定ボルト、及び角度調節用ボルトは、必ずしっかりと締めつけてください。
2. ノズルには荷重をかけないでください。変形の可能性があります。
3. ノズルを固定する場合は、ノズルの自重に耐え、かつ振動等による脱落がないように考慮してください。
4. ノズルに熱風を通して使用する場合は、固定金具も熱くなりますので、固定部、及び周辺の熱対策を十分に施してください(ノズル専用断熱材もオプションにて用意しております)。また、ノズル自体も熱膨張しますので、入口用固定金具に隙間を確保して取り付けてください(ステンレスは350°C時に1mあたり約3mm膨張します)。ただし、供給口位置を上部、または正面供給口タイプ、あるいは供給口形状を固定用フランジ付タイプ等にてお買い上げいただいた場合は、入口用固定金具側による隙間が取れないため、熱膨張によりスリット巾が広がり、吐出エアのバラツキが発生する可能性があります。この場合は固定金具の取り付け側、または固定フランジ側等で隙間を取っていただくことをおすすめいたします。

## 4. 配管方法

ハイブローノズルスUSのエア供給口は、φ50、φ65、φ75、φ100、φ125のパイプ(外径)となっています。それぞれの径が内径となるフレキホース等で配管してください

- ① フレキホースとの接続はハイトルクバンド等でしっかりと締めつけ、エア漏れがないように取りつけてください。
- ② 接続用のフレキホースは送風機の圧力、供給する熱風温度等を考慮して選択してください。
- ③ 熱風を通して配管する場合は、配管が熱くなるので、周囲の環境を十分に考慮して、断熱施工やカバーの設置等による火傷対策や環境対策措置を施してください。

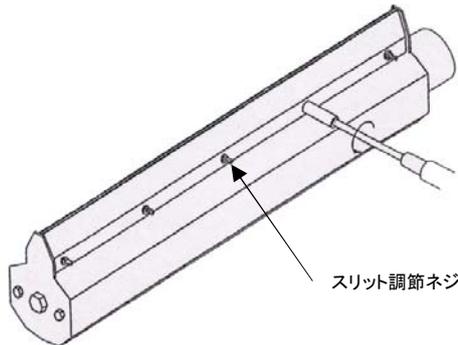
## 5. スリットの調節方法

ハイブローノズルスUSは吐出風速に乱れが生じた場合や、任意にスリット巾を変更したい場合に、同梱の六角棒スパナを使用して、スリット巾を調節することができます。

【スリット巾調節方法】

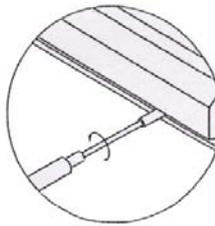
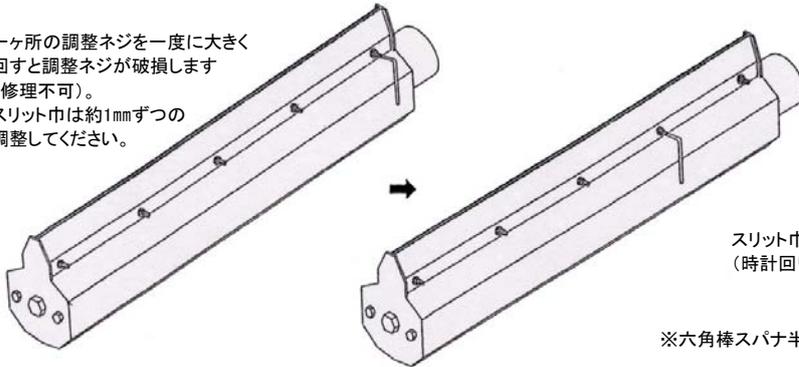
### 1. スリット巾を広くする場合

- ① 両サイドのスリット調節ネジのUナット(M4)をボックスレンチ等にてゆるめてください。



- ② 付属の六角棒スパナをスリット調節ネジの六角穴にしっかりと差し込み、六角棒スパナを軽くアタリがあるまで**時計回り**に回してください(供給口、または先端側から順番におこなってください)。
- ③ アタリがあれば、次のスリット調節ネジを同様に軽くアタリがあるまで回してください。

一ヶ所の調整ネジを一度に大きく回すと調整ネジが破損します(修理不可)。スリット巾は約1mmずつの調整してください。



反対側のUナットもゆるめてください。

### 2. スリット巾を狭くする場合

- ① 両サイドのスリット調節ネジのUナット(M4)をボックスレンチ等にてゆるめてください。

- ② 付属の六角棒スパナをスリット調節ネジの六角穴にしっかりと差し込み、六角棒スパナを軽くアタリがあるまで**反時計回り**に回してください(供給口、または先端側から順番におこなってください)。
- ③ アタリがあれば、次のスリット調節ネジを同様に軽くアタリがあるまで回してください。



※六角棒スパナ半回転で、約0.5mmのスリット巾が調節できます。

- ④ すべてのスリット調節ネジを回した後、さらにスリット巾を広げたい場合は、再度、最初のスリット調節ネジから順番に回して任意のスリット巾に調節してください。
- ⑤ 調節後、スリット調節ネジを六角棒スパナにて固定したまま、反対側のUナットをボックスレンチ等で締めつけてください。
- ⑥ 最後に六角穴側のUナットを締めつけてください。

- ④ すべてのスリット調節ネジを回した後、スリット調節ネジを六角棒スパナにて固定したまま、反対側のUナットをボックスレンチ等で締めつけてください、これにより実際に調節したスリット巾になります。
- ⑤ さらにスリット巾を狭くしたい場合は、再度、両サイドのスリット調節ネジをUナットをゆるめて、最初のスリット調節ネジから順番の回して、任意のスリット巾に調節してください。
- ⑥ 調節後、スリット調節ネジを六角棒スパナにて固定したまま、反対側のUナットをボックスレンチ等で締めつけてください。
- ⑦ 最後に六角穴側のUナットを締めつけてください。

## 《注意》

1. 六角棒スパナは必ずしっかりと差し込んでスリットの調節をおこなってください。緩んだ状態でスリット調節ネジを回すと、スリット調節ネジの六角穴、及び六角棒スパナが損傷します。
2. 六角棒スパナにてスリット巾を調節中にアタリがあった場合は、絶対にそれ以上回さないでください。スリット調節ネジが損傷し、復旧できなくなります。アタリがあった場合は別の箇所のスリット調節ネジの調節に移行してください。
3. ハイブローノズルSUSに熱風を通す場合は、先にスリット巾を調節し、スリット巾を固定してください(試運転時に調節することをおすすめします)。長時間の熱風運転後は熱膨張によりスリット調節ネジが回りにくくなります。
4. 送風機の性能によっては、吐出風速を早めるためのスリット調節によって、逆にエア量や吐出風速が低下することがあります。カタログの性能曲線等を参考して送風機的能力範囲で調整してください。
5. スリット調節ネジのUナットをゆるめる場合、Uナットが外れて落下しないように注意してください。
6. 調節後は、両サイドのUナットをしっかりと締めつけてください。

## ◆ 特にご注意ください ◆

- ハイブローノズルSUSはエア専用です。水などの液体を流さないでください。蒸気については流すことができますが、ネジ部や隙間等から多少の漏れは生じます。
- ハイブローノズルSUSは分解清掃できません。よって、ゴミ、埃等を含んだエアを供給する場合は、必ず送風機側にフィルタを設けてください。また、冷えると凝固するような物質を含んだエアを流す場合には、停止時にノズル内にそのエアの残留がないように注意してください。
- ハイブローノズルSUSはスリット調節式のため、スリットの両サイドから若干のエア漏れが生じますが、異常ではありませんのでご了承ください。
- ハイブローノズルSUSは低圧損汎用タイプのため、スリット両端部(約25mm)は吐出エアのバラツキの精度定格が乱れる可能性があります。項目5. スリットの調整方法に従って、スリット巾を任意に調節することで、若干、改善される場合もあります。
- ハイブローノズルSUSを設置する場合は、対象ワークと接触しないようにしてください。鉄板等のワークが衝突するとハイブローノズルSUSのスリット部が損傷します。また、熱風を吐出する場合はハイブローノズルSUSの表面も高温となり、可燃性ワークが接触すると火災の原因になります。

## 6. 保証

- 本機の保証期間は、お買い上げ日より1年です。
- 保証期間内の取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、下記の内容に基づき無償修理いたします。ただし、本機に対する出張修理は承りません(ご返却による修理のみとなります)。
- この装置によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
- 修理した部品、及び処置の保証は、修理後3ヶ月間とさせていただきます。
- 次のような場合は保証の範囲に含まれません。
  - ・ 誤ったご使用や不注意なお取り扱いによる故障。
  - ・ 分解や改造されたもの。
  - ・ 落雷、地震、台風、水害、火災や塩害による損傷。
  - ・ 結露によるサビの発生。
  - ・ お買い上げ後の輸送、移動、落下等による損傷。
  - ・ ほこり、ゴミ、糸くず、オイルミスト等による損傷。
  - ・ 代金の決済を怠ったとき。
  - ・ 取扱説明書に従った使用方法でない場合。
- 次にしめすものの費用は負担いたしません。
  - ・ 消耗部品、塗装。
  - ・ 装置を使用できなかったことによる不便さ、及び損失、または二次損失等(電話代、休業補償、商業損失等)。
  - ・ 現地修理の際に発生する交通費、宿泊費等。
- 保証は日本国内において有効です。

日本国内で購入された当社製品を海外へ輸出された場合、保証は適用外となります。この場合の保証の適用は、当社工場へ返送いただいた製品の持ち込み修理のみとさせていただきます。また、持ち込み修理、及びその修理後の返却のための必要な輸出入、輸送にともなう費用はお客様のご負担となります。

製造  
販売元



株式会社 関西電熱

本社 〒577-8566 東大阪市高井田西5丁目4番18号  
TEL (06) 6785-6001(代) FAX (06) 6785-6002  
東京支社 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目4番4号  
TEL (03) 5710-2001(代) FAX (03) 5710-2005

ホームページ [www.kansaidennetsu.co.jp](http://www.kansaidennetsu.co.jp)